

事務局

住所：〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留
TEL 080-5966-1187 FAX 043-487-1539
URL：http://www.sakurarose-society.com (公式サイト)

佐倉ばら会の会章(シンボルマーク)は、佐倉ばら会の創立10周年を記念して、市内在住の彫刻家 久保 浩(くぼ こう)氏に制作を依頼したものです。今後、未長く皆さんに愛されていくことを願っています。

つるバラ誘引、木バラの剪定 —— 講習会を開催 ——

NPOバラ文化研究所とのコラボレーションにより、令和5年(2023年)1月18日(水)と、2月18日(土)に、つるバラ誘引、木バラの剪定講習会が、佐倉草ぶえの丘バラ園で開かれました。バラの誘引、剪定は、バラが冬の休眠期間中に、その作業を行い、新旧の枝を更新し、全ての枝が、太陽の光に当たり、風通しの良い状態になるように、樹形を整えると共に、生育不良や病虫害などがあれば、適切に処理をします。バラは、剪定を行わないでいると、咲いた枝の下から次の枝が出て、貧弱な花を咲かせます。そして、枝はどんどん細くなり、花も咲かせず、背丈ばかりが伸びていきます。冬の剪定を行うことにより、常に枝を更新し、良い花を咲かせる枝だけを残すことで養分を集中させ、しかも、樹形を整えるのが冬の時期の剪定です。こうした処置によって、木が力を蓄え、春先には一斉に蕾をつけて、時期を同じくして花を咲かせることが出来るものです。



木バラ剪定講習会から

参加された皆さんは、当日の作業概要の説明を受けた後に、剪定バサミを持って、作業現場に向かいました。現場では、春から夏にかけて咲くバラの位置や風景を想像しながら、枝をポールやスクリーンに結びつけたり、実際にバラの枝を剪定するなど、実践的な講習を通して、誘引や剪定の技術を学んでいただきました。

なお、2022年度は、佐倉ばら会の単独事業として、前年度に整備した、市内染井野地区の七井戸公園内のバラ花壇について、バラの剪定講習会を兼ねた剪定作業を、令和5年(2023年)2月25日(土)に行いました。このバラ花壇には、フランス由来のスーリー・ドゥ・モナリザ(モナリザの微笑みを意味する深い紅色の花が特徴)、中国由来のコウシンバラ系統のオールドブラッシュ(ピンクの四季咲のバラで晩秋まで花を咲かせる)、ドイツ由来のメルヘンツァーバー(四季咲の優しいアプリコットピンクの花が特徴)の3品種、59本が植栽されています。場所も、日当たりのいい傾斜地となっており、前面には噴水のある広々とした池が広がっており、花の開花時には、美しい景観を楽しめます。



七井戸公園内のバラ花壇で



プロジェクトチームのメンバー

佐倉市新町にある旧佐倉藩主・堀田家廟の入り口に、大きなモミジに覆い被さる巨大なバラがありました。このバラは、11代当主・堀田正恒伯爵が、大正8年(1919年)から、大正10年(1921年)まで、ヨーロッパに留学した際に持ち帰り、お手植えされたものと言われています。このバラは「佐倉 堀田邸ミステリーローズ」と命名され、佐倉商工会議所及び佐倉ばら会との協働で佐倉市民に1000本無料配布され、5月には市内各所で見事に咲いていました。佐倉市内にはこのバラ以外にも、比較的古い地域の神社・仏閣や農家の庭先で、由緒もわからないバラを見ることがあります。佐倉ばら会では、これらのバラを調査するため、「佐倉ミステリーローズ調査プロジェクト」を立ち上げ、千葉県立中央博物館の御巫由紀博士、筑波花卉研究所の大久保直美博士の指導の下、令和3年(2021年)から調査を開始しました。調査の結果、市内に22種類のバラが見つかり、それぞれスターディーネームが付けられ、植物学的見地での詳細な調査票が作成されました。そして、これらのバラの詳細な写真を記録として残し、広く公表するために、公益信託佐倉街づくり文化振興白井基金に助成金の申請を行い、出版の計画が立てられています。

本年、令和5年(2023年)が調査の最後のチャンスとなるので、万全の態勢で臨むことになっていきます。現在、本の編集委員会が発足して、ページ割や執筆担当者も決まりましたので、今年度内の完成を目指してチーム全員で取り組む予定で

佐倉ミステリーローズ 調査プロジェクト —— 調査結果を冊子にまとめて公表へ ——

ラが見つかり、それぞれスターディーネームが付けられ、植物学的見地での詳細な調査票が作成されました。そして、これらのバ



市内農家の庭先のバラ

■お知らせ■佐倉ばら会ホームページ更新

佐倉ばら会の活動に、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

佐倉ばら会のホームページが新しくなりました。今後も、的確な情報提供を行いながら、より多くの皆さんにご利用いただけるよう、内容の充実を図ってまいります。引き続き、当会に対しまして、ご支援ご協力をお願いいたします

■佐倉ばら会事務局■

〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留
電話：080-5966-1187 FAX：043-487-1539



シリーズ 話題のバラ 歴史的な名花

前原克彦佐倉ばら会会長による、新シリーズ 4 回目です。

memo

HTは、「Hybrid Tea」の略で、現代バラの四季咲き大輪系のバラを総称しています。

乾杯 (Kanpai) HT1983 年 鈴木省三作出

深紅のピロードのようなこのバラは、1982 年ローマの国際バラコンクールで金賞を受賞しました。大変強健で次々と深紅の大輪の花を咲かせ、世界中のバラ愛好家に称賛されています。

筆者が鈴木省三氏から聞いた話では、ローマの審査員はイギリスの深紅のバラと乾杯どちらを金メダルにするか、大変悩んだそうです。最終判断として、乾杯にはスライダが香りがある、としてこちらを金メダルとして選んだそうです。



佐倉ローズフォト展 2022 バラの魅力収めた力作を展示

「バラ薫る佐倉」をテーマに、「佐倉ローズフォト展 2022」(主催/佐倉市 後援/佐倉商工会議所・佐倉市観光協会・佐倉ばら会・NPOバラ文化研究所)が、令和 4 年(2022年)5 月 28 日(土)から 6 月 5 日(日)まで、佐倉草ぶえの丘で開かれました。

いつの時代にも人々に愛されているバラ。自然豊かな佐倉市で、ご自宅で育てているバラや、佐倉市内に咲いているバラを通して、佐倉の魅力を発信する一助とするために開かれたもので、54 作品の応募がありました。多数のご応募、ありがとうございます。入選の皆さんは、次のとおりです。(敬称略)



力作が展示されたフォト展

- 【佐倉商工会議所会頭賞】近迫宅哉(染井野)
- 【佐倉市観光協会会長賞】佐藤裕一(栄町)
- 【佐倉ばら会理事長賞】大豊由美(王子台)
- 【優秀作品賞】八木進也(上志津)・谷道幸雄(西志津)・稲岡一乃(飯野)

【入選】川崎トシヒロ(新町)・松本則男(王子台)・福久節(石川)・谷道隆子(西志津)・深作道子(染井野)・田中亮子(上座)

白井小にバラの苗を植栽

佐倉ばら会では、佐倉市内の 13 の小中学校にバラを寄贈して、その剪定作業等を行っています。白井小学校のバラが枯れてしまいました。これを受けまして、NPO バラ文化研究所のご厚意により、バラ(オールドブラッシュ) の苗 10 本が寄贈されましたので、佐倉ばら会で、その苗の植栽を行いました。作業は、会員の皆さんの協力をいただき、令和 5 年(2023年)3 月 23 日(木)に、白井小学校で行われました。なお、このバラの手入れ作業等につきましても、今後佐倉ばら会で実施していくこととしています。



バラ苗植栽の様子



4 年ぶりに開催されたサロントーク

コロナ禍等で開催を見送っていた主催事業のサロントークですが、4 年ぶりに令和 4 年(2022年)7 月 23 日(土)、佐倉草ぶえの丘資料室で、蓬田勝之(よもぎだかつゆき) 氏を講師に迎え開催されました。蓬田氏は、世界で初めてバラの香りを 6 タイプに分類した香料分析のエキスパートであり、20 年で約 1,000 種のバラの香りを調査されました。また、資生堂リサーチセンター香料開発室では香料分析研究に従事され、「薔薇のバルファム」「バラの香りの美学」等、バラに関する著書も執筆されている、バヒューマリー・ケミスト(香りの科学者) であり、蓬田バラの香り研究所(株)取締役研究所長のほか、NPOバラ文化研究所の理事も務められています。

今回は、「バラの香りと分類 ～野生種からモダンローズへ～」と題して、バラの香りを科学するというお話では、バラは、古代より魅惑的な香りや有用な作用があることで祭儀や権力者による饗宴の場などに使用されていたことや、バラの香りは、花卉から発散され、半開初期が最も美しく香ことなどが紹介されました。また、花から揮発している成分の採集方法から機器分析によって個々の化合物の化学構造を明らかにすることができるようになった経緯など、一連の研究を行うことで、人の嗅覚に対応した成分を特定できることなどをお話されました。さらに、作成されたバラの香り全体を理解するための嗅覚と成分データから 7 タイプの香りに分類し、視覚的に表現したバルファム図や表象マップを示しながらの説明もありました。その他にもティーローズエレメントの発見やモダンローズの香りの効用に期待など、ご参加の皆さんは、蓬田氏のわかりやすい説明に聞き入っていました。

サロントーク後の感想では、「香りの成分が同じバラでも時間の経過でかなり変わるということを知ることが出来たので、一回でなく何度も嗅いでみた方がいいですね。来てよかったです」お話がわかりやすく楽しいだけでなく、バラの香りが人の体に鎮静や覚醒などを与える影響があるとは、驚きでした。私は鎮静効果についても知りたいと思いました。今日参加してよかったです。香りについてとても興味が高まりました。先生のお話をまた聞いてみたいです。バラの香りの可能性は計り知れないですね。また精神的なお話も心に響きました。など、バラの香りや人を与える影響について、より一層理解を深めることができたサロントークとなりました。

蓬田氏は、「バラ生花の香りは夜明けとともに香り立ち、刻々と変化します。そしてティーローズ・エレメントを含む数百の香り成分がハーモナイズする時、奥深い「至高の香り」が訪れます。」と今回のサロントークを締めくりました。

「4 年ぶりにサロントーク バラの香りと分類 野生種からモダンローズへ」 蓬田勝之氏が講演



講師の蓬田氏

佐倉ばら会の事業について

令和 4 年度

佐倉ばら会の令和 4 年度事業は、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、予定の事業の一部を中止しましたが、サロントークは、4 年ぶりに開催しました。また、定例事業の、当会会員のバラガーデン及び庭園の観賞会、JR 佐倉駅北口前のガーデン整備、志津コミュニティセンターの花壇整備については年 4 回、植栽、草取り等を行うと共に、市内の小中学校 13 校のバラ園の剪定を行いました。また、NPO ばら文化研究所とのコラボで、つるバラ誘引、木バラの剪定講習会を実施するとともに、当会の単独事業としても、バラの剪定講習会を実施しました。また、染井野小学校花壇、七井戸公園バラ花壇については、地区の皆さん及び当会染井野班により、週単位での日常的維持管理活動、除草、剪定作業等が行われました。

令和 5 年度

令和 5 年度の佐倉ばら会の事業につきましても、新型コロナウイルスの感染拡大状況の動向を勘案しながら、対応させていただきます。現段階での予定事業としては、当会会員のバラガーデン及び庭園の観賞会、ガーデン観賞会と懇親会、サロントーク、つるバラ、木バラ誘引・剪定講習会、ナイトを囲んでバラとボージョレを楽しむ集い、佐倉ローズフォト展 2023 等です。また、佐倉ミステリーローズの調査のまとめ併せ、JR 佐倉駅北口前ガーデン整備と、志津コミュニティセンターの花壇整備、市内 13 小中学校のバラ剪定、染井野小学校及び七井戸公園内のバラ花壇の維持管理は、5 年度も実施してまいります。なお、今後の事業実施につきましても、会員の皆様には、個別にその都度ご案内を差し上げる予定です。新型コロナウイルスの感染状況の先行きは、依然として不透明な状況もありますが、事業実施の際には、多数の皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。